

令和7年度 学校経営の方針と重点

岐阜市立長良西小学校

【学校の教育目標】

未来に はばたく西っ子
たくましく ゆたかに たしかに

◆「たくましく」【体】意志・体力 ◆「ゆたかに」【徳】協力・連帯・思いやり ◆「たしかに」【知】知性・教養
社会がどのように変化しようとも、未来（志や将来の夢の実現）に向かって努力し続けるたくましい意
志・体力、豊かな人間性、知性、教養を身に付け、自分らしく生きる今と未来を創り出す子

【学校経営の方針】

＜楽しく、しなやかに＞ 自分らしく生きる今と未来を創造する力を育む教育の推進

全ての教職員の自分らしさの発揮と連携・協働による学校マネジメント	全ての児童の資質・能力の育成を図るカリキュラム・マネジメント
【児童の姿や意識を中核に据えた PDCA サイクルの推進】 ○課題解決に向けた教科部・学年部による組織的な取組の強化 ○教職員のニーズに応じ主体的・自律的に学ぶことができる 教員研修の充実	【個に応じたきめ細かな指導・支援の充実】 ○ICTの活用等により研究主題「子供が創り出す学びの実現」 の具現を図る実践研究の推進 ○児童の特性を踏まえ、可能性を最大限引き出す学びや支援

【学校経営の重点】

みんなの今と未来を幸せにする学校経営 ※みんな：子供、教職員、家族、地域住民等
～教職としての指導力・人間力の向上と働き方改革の推進の両立～

【具体的な
指導の
方向】

- 児童や教職員が「学校は楽しい」と感じ、安心して学びに向かうことができる校内環境
- 児童や教職員が自分らしさを生かし、自らの可能性を伸ばす活動（ICTの有効活用）
- 多様性を尊重し、いじめ・不登校の未然防止、早期対応・解決を図る教育活動及び教育相談
- ふるさとを基盤とした探究的学習により自らの生き方を創り出す「西っ子 MIRAI's」
- 小中一貫・幼保小の接続、コミュニティ・スクールを活用した教育活動

【具体的な実践事項（共通理解・共通行動）】

児童の学びを中核に据えた授業改善	自己存在感が実感できる学校・学級経営	生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援
○楽しく、教科等が好きになり、学ぶ意義や喜びを実感する授業改善 ○自分らしさを生かし、自らの可能性を伸ばす個別最適な学びと協働的な学びの実現ーICTの有効活用ー ○「子供が創り出す学び」の実現（研究）	○自分らしさが認められ、誰もが安心して過ごすことができる学校・学級づくり ○共感的な人間関係を育成し、創造的で支持的風土のある学校・学級づくり ○自発的・自治的な学級活動・児童会活動（児童集会等）の工夫改善	○多面的・総合的な児童理解：日常的な関わりによる小さな変化を見逃さない児童理解と定期的なアンケート調査等による客観的な児童理解 ○養護教諭、SC、関係機関等と連携したチーム支援による組織的な対応 ○保護者との信頼関係の構築

【教職員の心構え・5つの目指す教師像】

時代や児童を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体的・自律的に学び続け、
他者（児童・同僚・保護者等）との対話から得られる学びを自らの成長につなげる教職員

①傾聴	児童、保護者、教職員等の話を相手の立場に立って共感し理解しようとする。	○児童や保護者、同僚等の困り感を親身になって聞き取ろうとする姿 ○児童や保護者、同僚の立場に立った言動に心がけ、ハラスメントや行き過ぎた指導の防止に努める姿
②事実・データ	学びの事実や各種調査結果、データ等を有効に活用し成果と課題を見抜き、改善につなぐ。	○教育活動の様々な場面で、児童の表情や動き、思いや考えを表出した発言内容、ノートの記述などから学びの事実を見抜き、指導に生かす姿 ○各種アンケート調査や全国学力・学習状況調査等の結果などのデータを有効に活用し、指導改善に生かす姿
③挑戦	果敢にチャレンジして価値ある教育活動を模索する。 ＜「西っ子 MIRAI's」等、新たな学びの創出＞	○児童を取り巻く環境の変化を捉え、同僚等と対話を重ね、活動の意義や目的を明確にして「自分の生き方を創り出す子」を育む教育活動を創造する姿 ○児童の動向に関心をもち、最新情報を積極的に収集したり、主体的に研修会に参加したりして、自らの教育観や指導力を磨く姿
④協働	いじめ事案など、課題を一人で抱え込むことなく、速やかに情報の共有を図り組織的に対応する。	○学校・教職員（自分や同僚）に対する保護者等からの苦情や、いじめ・不登校に係る事案については、速やかに管理職や主任、関係職員等と情報共有を図り、組織的に誠実かつ迅速に対応する姿
⑤健康	タイムマネジメントに心がけ計画的に仕事を進め、自他の心身の健康を気遣う。	○優先順位を決めて計画的に仕事を進め、時間外在校等時間の縮減を図り、元気に笑顔で児童と向き合えることができる姿 ○同僚など周りの教職員の様子に関心をもち、違和感や異変などを感じた場合には、速やかに管理職や主任、同僚に相談する姿

【危機管理及び情報発信・学校評価】

＜危機管理の「さしすせそ」を全教職員が意識して実践＞

- ・最悪の事態を想定し、慎重に素早く、誠意をもって組織的に対応→「命に係る事案は最優先」
- ・「ヒヤリ・ハット事案」の共有を通して、教訓を確実に生かす→「いのちを守る訓練」等の本気度・リアル度の向上

＜情報発信＞

- ・学校だよりやHPの活用による積極的な活動の紹介 ・研究・研修内容の発信 ※個人情報取り扱いには十分に留意

＜学校評価 ～PDCAサイクル（特に、C：チェック、A：改善を充実）の強化～＞

- ・児童と教職員による定期的な自己評価 ・保護者や学校運営協議会による外部評価 →学校評価に基づく改善策を発信